

# コンパス

Challenge Chance Change

加古川市立

志方東小学校



令和 7 年度

道徳便り 第 1 号

R7.6.13 発行

今年度も「道徳だより」を発行します。道徳教育にかかわる学校の取り組みやくらしの中で課題になったこと等を紹介させていただきます。学期に 1 回程度の発行ですが、これを通してご家庭で話し合いの機会をもっていただけたら幸いです。

## 人権参観日（6月11日）のとりくみから

2 校時に人権授業参観、3 校時にインターネットトラブル防止講座（PTA 家庭教育大学を兼ねて）を行いました。たくさんの保護者様、地域の皆様にお越しいただきありがとうございました。全学級の授業について、内容や児童の感想等をご紹介させていただきます。

また、インターネットトラブル防止講座では毎年お世話になっている篠原嘉一先生を講師に迎え、全校児童と保護者（25 名くらい）で話を聞きました。ネットやゲームを正しく安全に扱うことの大切さについて、改めてふりかえることができました。今一度家庭でのルールについてお子様と確認していただければと思っています。

篠原先生⇒



### 1 年生 「みんなたいせつ『ひとりじゃないよ』」



困ったときや悩んだときは、周りの人に相談できることに気づくとともに、実践していこうとする態度を育てる。

暮らしの中で自分を支えてくれている人についてあらためてみつめました。先生たち 1 人ひとり（黒板に写真）についてもふりかえりました。

支えてくれる先生たちの写真⇒



**児童のふりかえり**・みんながたいせつってわかってうれしかった。・パパママがたすけてくれている。

・とうこうはんいっしょにいてくれてうれしかった。・わだせんせいがべんきょうをおしえてくれてうれしい。・K くんいつもあそんでくれてうれしかったです。・R ちゃんにいわれてうれしかったです。・たすけてくれるひとがたくさんいて、うれしい。

### 2 年生 「森のともだち」



友だちと仲よくする大切さを考え、友だちと互いに仲よく助け合っていきたいという心情を育てる。

いじわるな「こんきち」は仲間に助けてもらえたものの、自分のことだけ考え、仲間のことを放って逃げ出してしまう。それに気づいて引きかえしてくると…、大声で泣き出した。

**児童のふりかえり**・わたしがこんきちだったら、もういじわるはしません。

・じぶんにもともだちが いるから たすけあいをしようとおもいました。・みんな ともだちはたいせつです。・せかいじゅうのおともだちとたすけあうのがたいせつだとおもいました。

## 3・4年生 「いっしょになって、わらっちゃだめだ」



正しいと判断したことは、自信を持って行おうとする態度を育てる。

あだ名を言って楽しんでいるクラスメイトたち。いじめだとは気づいていない。それを見ていたぼく、(どうしよう…) 立ち上がって出ていく態度をとることでおかしいことを伝えようとした。

**児童の考え(教室を出ていった「ぼく」のところ)**・くり返し考えた。でもどうしたらいいかわからず、その場をさっていった。・いっしょに笑ったらいじめていると同じになると思ったから。・その子へのいじめがエスカレートする前に先生に言わないと…。・いやな気持ちになった。それはいじめだと思ったから。人のことをバカにしたから。それではらが立ったから。・いっしょになってわらったらいじめが広がると思ったから。・言われている子の気持ちを考えて!という思いから出ていった。

**児童のふりかえり(もし自分のクラスで起きたら)**・ぼくは助けることはできないかもしれないから先生に言う。・先生に言うか自分で注意をします。・自分の力で言います。言葉で言います・すぐ止めに行きます。・まず先生に言って、その後「自分がされたらどう思う?」とその子たちに聞く。・その子たちに「へんなことを言われるとかなしくなるよね、だからだめだよ」と言う。・言われている子を助けます。

## 5・6年生 「平和学習出前講座被爆体験講話」



広島・長崎で実際に被爆を体験された方(加古川市原爆被害者の会)の声を聞き、平和の尊さについて考える。

加古川市役所総務課にお世話になり、この講座が実施できました。6名の方を迎え、長崎での語りべ体験講話、原爆詩の朗読、広島での語りべ体験講話をしていただきました。児童たちも大人たちも真剣に聴き入りました。

### 児童のふりかえり

- ・被爆された話を聞いて、経験した人にしか分からないことだと思い、話が聞けて良かったです。その理由は、話を聞ける人は、もう少ないので貴重な時間だったと思ったからです。…
- ・原子爆弾で焼かれた体は胴体が溶け眼球が飛び出すほど悲惨な死に方をすると聞いて、戦争や原子爆弾はそんなに恐ろしいものなのだなと思いました。…辛い話なのに話をしてくださってありがたかったです。よく知ることができました。
- ・被爆された人々の思いを歌にしているものもありました。原爆で、自分の家族の命をなくし、「自分だけ生き残ってしまった」という悲しさをひきずっておられることを知りました。
- ・広島も長崎もとても大きな被害があった事がわかりました。被害があったことは知っていたけれど思っていたよりもとても大きな被害があり、色々な亡くなられた話を聞いてとても悲しい気持ちになりました。お話の通り、核兵器などをこの世から無くして二度とこのような戦争をしないようにしてほしい。今戦争をしている国たちはもう戦争を1日でも早くやめてほしい。…  
(以上5年生)
- ・原爆が落とされたあと、食料がなくて雑草やカエルなどを食べていたことを聞いてとてもびっくりしました。戦争はとても残酷で、悲惨なことだと思いました。これから、武力を絶対に使わない、核兵器がない平和な世界を目指したいと強く思いました。未来を作るのは自分たちだから、もう二度とこんなことを起こしたくないと思いました。
- ・被爆された方の話を聞いたり、写真を見たりして、原爆や戦争がいかに恐ろしいものか、残酷なものかを改めて感じました。今の世界でも戦争が起きているところがあります。国と国が武力で解決するのではなく、話し合いなど武力以外の方法で解決するのが一番良いことだと実感しました。未来の人たちに向けて原爆、戦争の恐ろしさを伝えていきたいなと思いました。  
(以上6年生)